

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成30年7月2日 (月)

場 所 3年生教室

1 主題構成表

主題 親切, 思いやり

資料名「わたしのしたこと」(出展: 光文書院)

■ 内容項目 B親切, 思いやり
親切とおせっかいの違いに気づき, 相手の立場や気持ちを考えて, 進んで親切にしようとする。

■ 内容項目から見た児童の実態(意識)
・友達に親切にしたいという気持ちをもっている児童が多い。
・自分本位で行動して, 相手が嫌な思いをすることがある。

■ 意識の要因
・いつも相手も自分と同じ気持ちだと思っている。
・相手が何を求めているかを考えて行動しようという意識が弱い。

■ 価値の分析
思いやりの心による親切な行為は, 人間社会では大切なことである。親切とは, 他者の喜び・悲しみ・痛みなどが分かり, 気持ちを理解したうえで適切な行動をとることである。それは, 心の温かさや優しさによるものである。反対に, おせっかいは他者の思いを押し量ることなく, 相手のことを思ったつもり自分だけの思い込みの行動である。
相手の立場や気持ちを考えて行動できるような, お互いの心の交流や共感に支えられた関係を育て, 心の行き違いが生じないようにしたい。そのためにも, 自分の行為を第三者としての立場としてとらえたり, 別の視点で見つめたりする時間や場が必要であると考ええる。

■ 資料の分析
本資料では, 「わたし」のノンちゃんに対する思いやりが, 親切ではなくおせっかいになってしまい, かえって二人の関係が気まづくなってしまう。お互いの気持ちの変化を追うことにより, 「おせっかい」はお互いの気持ちをよくするものではなく自己満足に終わってしまい, それでは意味がないと気付くことができる。また, 相手の気持ちを考えることで, 本当の「親切」につながるということを考えることのできる教材である。

■ ねらい
親切にしたつもりなのになぜ相手が喜んでくれなかったのかを考えることを通して, 親切は自分も相手もよい気持ちになる行為だということに気づき, 相手の気持ちや立場を考えて親切にしたいという心情を育てる。

■ 展開の構想
・「わたし」にはノンちゃんに対する思いやりの気持ちがあり, その思いが色ぬりを助けてあげようという行動につながっていることに共感する。
・親切心から手伝ったのに, ノンちゃんを不快な気持ちにさせてしまって, 戸惑っている「わたし」の気持ちを考える。
・ノンちゃんが本当に求めていることは「わたし」の手を借りることではなく, 見守ってもらうことであることに気付く。
・親切とは何かについて考えることで, 相手の立場や気持ちをよく考えた上での行動こそ, 本当の親切な行動であることに気付く。

■ 基本発問
○「いいのよ, 友達じゃないの。まかしたきなさいって。」と言った時の「わたし」はどんな気持ちから手伝ったのでしょうか。
○あなたがわたしだったら, 手伝いますか。
◎なぜ「わたし」はノンちゃんの描いた絵を見ることができなかったのでしょうか。
○「親切」とは何でしょう。

	基本発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 ※人権教育の観点
<p>導入</p> <p>／</p> <p>展開前段</p>	<p>1 友達に親切なことをしたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係の仕事を手伝ってあげた。 ・勉強を教えてあげた。 ・物を貸してあげた。 <p>2 資料「わたしのしたこと」を聞いて、「親切」について考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「親切」について考えよう。</p> </div> <p>○「いいのよ、友達じゃないの。まかしとさなさいって。」と言った時の「わたし」はどんな気持ちから手伝ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンちゃんが色ぬりで困っているから助けてあげよう。 ・友達だから、助けてあげよう。 ・ノンちゃんも喜ぶだろうな。 ・遠慮しなくていいよ。 <p>○あなたがわたしだったら、手伝いますか。(ペア交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンちゃんの気持ちをきちんと聞いてから手伝う。 ・邪魔をすることになるから、手伝わない。 ・色ぬりのアドバイスはするけれど、手伝わない。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎なぜ「わたし」はノンちゃんの描いた絵を見ることのできなかつたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンちゃんの悲しそうな顔を見て、自分がしたことは親切ではなかったと気付いたから。 ・自分はよいと思ってやったけれど、ノンちゃんにとってはうれしいことではなかったと気付いたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にすると、感謝されたり、相手が喜んだりすることを確認させる。 ・場面絵や短冊を貼りながら状況を理解させる。 ・「わたし」が親切心からノンちゃんを手伝ってあげようとしたことを確認する。 ・ノンちゃんは色ぬりが苦手で困っていることや、「わたし」は色ぬりが得意であることに気付かせる。 ・「手伝う」「手伝わない」どちらかにネームプレートを貼り、自分の立場を明らかにする。 ・「わたし」がノンちゃんのためにしたことが、かえってノンちゃんを不快にさせたことに気付かせる。 ・ノンちゃんの気持ちに気付かせ、お互いの気持ちを比較することができるよう板書する。
<p>／</p> <p>展開後段</p>	<p>3 「わたし」はこの出来事から親切についてどのように考えたのでしょうか。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>親切とは、自分も相手もよい気持ちになることをすること。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が喜ばないことにならないために大切なことは何か問い返し、相手のことをよく考えることや言葉では表されない気持ちがあるかもしれないということを押さえる。
<p>／</p> <p>終末</p>	<p>4 今まで友達に対して本当に親切な行動をとれていましたか。このことについて考えながら、今日の感想を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助けてあげても、相手が喜んでくれなかったことがある。自分と同じように思っているとは限らない。これからは相手も気持ちを考えて親切にしたい。 ・同じことをしても、人によって感じ方が違うことがある。相手のことを考えて行動したい。 	<p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでは助けたり手伝ったりすることが親切だと思っていたが、これからは相手の気持ちをよく考えて親切にしたい。」 <p>※相手の気持ちを考えた上での行動こそ、本当に親切な行動であるということに気付き、自分の生活を見直すことができる。</p> <p style="text-align: right;">(自己啓発力)</p>

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<児童の意識>

<指導・援助>

